

横川駅の釜めし

今回は安中市が収集・保管している沢山の写真の中から、懐かしい風景をひとつ紹介します。

明治18年(1885)10月、横川で宿屋を営んでいた「おぎのや」は、横川駅開業と共に駅弁の販売を始めました。当時の弁当は竹の皮に包んだ「おにぎり」と「お新香」という簡素なものでしたが、全国で二番目に売り始めた駅弁でした。

その後、全国で似たような駅弁が販売されるようになり、新しい駅弁を模索していた4代目店主高見澤みねじは、横川駅の停車時間中に乗客に駅弁の要望を聞いて回り、乗客の求める駅弁が「あたたかくて家庭的な楽しい弁当」であるを知りました。その要望から、昭和33年(1958)2月に生まれたのが「峠の釜めし」です。容器が益子焼であることと合わせて評判になりました。



令和元年度
「文化財愛護ポスター」
優秀作品(敬称略)
中澤春陽
(九十九小学校6年)



横川駅での駅弁販売 平成9年8月

横川駅では、往時、碓氷峠越えの電気機関車EF63の連結待機中にホームで釜めしを販売する光景が有名になりました。横川・軽井沢間の廃線によりその姿は見られなくなりましたが、「峠の釜めし」は、駅弁として今でも全国で根強い人気を誇っています。

展示準備のため4月23日(木)・24日(金)はふるさと学習館は臨時休館予定です。

クイズ

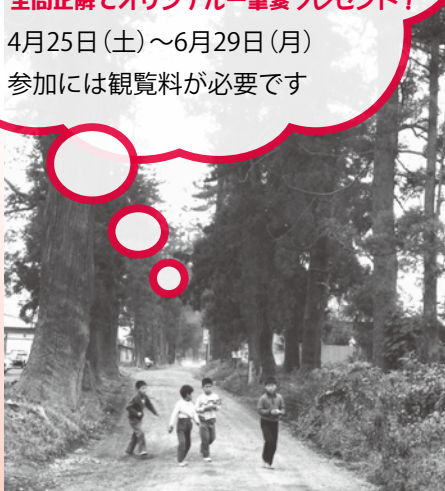
関連イベント

「安中の“ここ、どこだろう”」

全問正解でオリジナル筆箋プレゼント!

4月25日(土)～6月29日(月)

参加には観覧料が必要です



安中市学習の森ふるさと学習館春季企画展

あの日 あの頃 この町で

～写真で振り返る安中市～

2020

4.25 SAT 6.29 MON

※開催期間変更の可能性あり

安中市には当時の風景や文化を撮影した写真が数多く残されており、そこには明治から大正、昭和、そして平成と移りゆく時代の面影が刻まれています。

今回は市所蔵の写真を中心に古き安中、懐かしき安中の姿を紹介します。“あの時”を今、思い出してみませんか。



〔開館時間〕 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 〔観覧料〕 一般100円、団体(20人以上)80円、高校生以下無料
〔休館日〕 毎週火曜日、4/30(木)、5/7(木)、5/8(金)、5/13(水)、5/14(木)

問合せ▶安中市学習の森 ふるさと学習館
安中市上間仁田951 ☎382-7622 mail: furusato@city.annaka.lg.jp